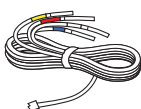


製品購入後、本体及び付属品が全て揃っていることを確認してください。
万が一、本体及び付属品に破損または異常がある場合は、直ちに本製品を購入した販売店にご相談ください。

基本構成



本体



メインケーブル
(1m)



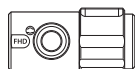
電源接続ケーブル
(2m)



SmartReco専用
64GB microSDカード



前方カメラ・
接続ケーブル (3m)



後方カメラ・
接続ケーブル (7m)



サイドカメラ (左
右)・接続ケーブル
(4m・7m)



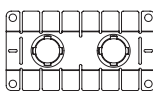
microSDカード
リーダー



結束バンド (10本)
クッションテープ
(1枚)



取扱説明書



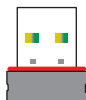
本体設置
ブラケット



本体設置
ブラケット
両面テープ



GPSモジュール
(3m)



Wi-Fi通信 Dongle



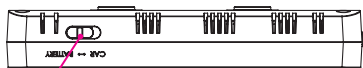
カメラ固定
両面テープ



USB-DC
12V 電源ケーブル

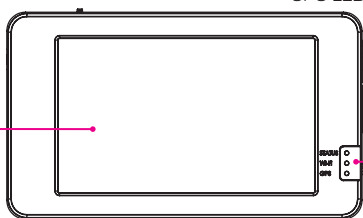
上記付属品は予告なく変更される場合があります。
(上記はイメージ画像ですので、実物と異なる場合があります。)

各部の名称及び機能 - 本体

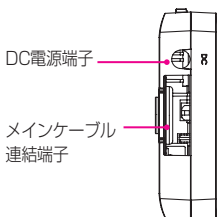


入力電源切替スイッチ
 CAR：メインケーブル
 BATTERY：DC電源端子

STATUS LED（緑色 LED）
 Wi-Fi LED（赤色 LED）
 GPS LED（青色 LED）



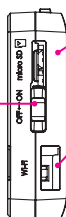
3.5インチ
 TFT
 タッチパネル



DC電源端子

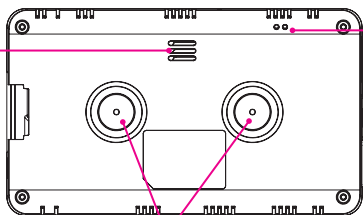
メインケーブル
 連結端子

電源ON / OFF
 スライドスイッチ



microSDカード
 スロット

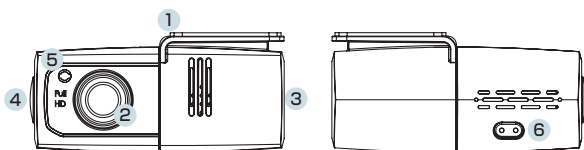
Wi-Fi dongle
 接続端子 /
 USBメモリー
 接続端子



スピーカー

マイク

本体設置ブラケット
 マグネット連結部

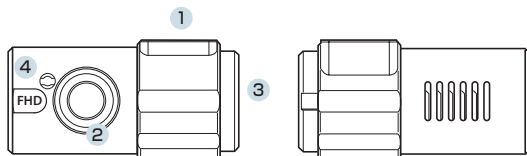


④ スイッチ

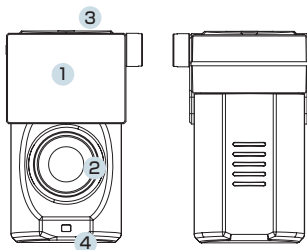
1 回押す：強制保存

長押し（約5秒）：駐車監視ON / OFF切替

名称	説明
① 接着面	フロントガラスと前方カメラの接着面
② カメラレンズ	前方カメラレンズ
③ 接続端子	本体とケーブルで接続します。
④ スイッチ	強制保存、駐車監視モードON / OFF設定切替 機能サポートスイッチ
⑤ セキュリティLED	駐車監視モード中、青色LEDが点滅します。 ※ 設定でON / OFFできます。
⑥ 状態確認LED	常時録画中の 動作状態確認用緑色LED GPS受信確認用青色LED



名称	説明
① 接着面	リアガラスと後方カメラの接着面
② カメラレンズ	後方カメラレンズ
③ 接続端子	本体とケーブルで接続します。
④ セキュリティLED	常時録画中、青色LEDが点灯します。 駐車監視モード中、青色LEDが点滅します。 ※ 設定でON / OFFできます。



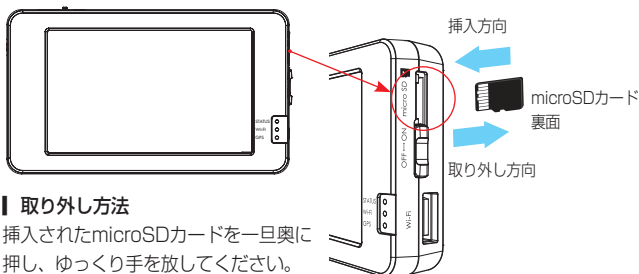
名称	説明
① 接着面	サイドガラスとサイドカメラの接着面
② カメラレンズ	サイドカメラレンズ
③ 接続端子	本体とケーブルで接続します。
④ セキュリティLED	常時録画中、青色LEDが点灯します。 駐車監視モード中、青色LEDが点灯します。 ※ 設定でON / OFFできます。

※ 必ず本体電源をOFFにしてから行ってください。

挿入方法

microSDカードを矢印の方向でカチッと音がするまで挿入してください。

※ 向きにご注意ください。



取り外し方法

挿入されたmicroSDカードを一旦奥に押し、ゆっくり手を放してください。



注意

『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

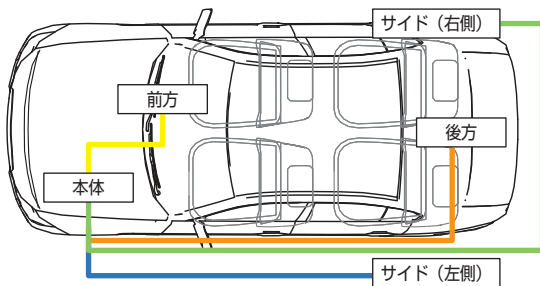
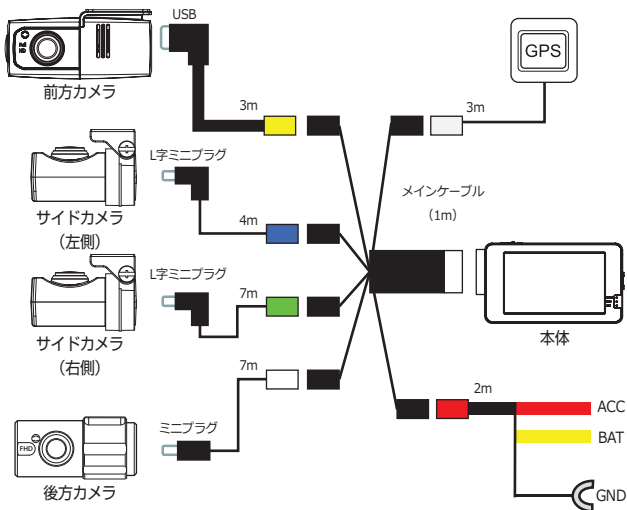
※ microSDカードを無理に挿入した場合、本体とmicroSDカードが損傷する可能性があります。損傷が発生した問題に対して弊社は一切の責任を負いません。

メモリーカード使用の際の注意事項

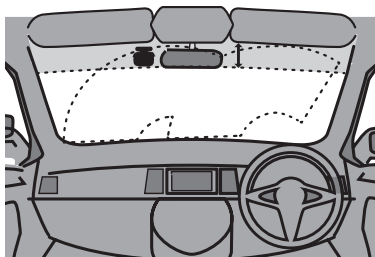
- ・メモリーカードは寿命がある消耗品ですので、6ヶ月を超えた場合、正常に録画がされない場合があります。製品寿命を経過したメモリーカードは交換してください。
- ・製品の正常動作を確認するため、週1回以上データの確認をおすすめします。
- ・メモリーカードは必ず純正品をご使用ください。純正のメモリーカード以外のカードを使い、起こった問題などに関して弊社は一切の責任を負いません。
- ・本体の電源がOFFの時にメモリーカードの取り外しを行ってください。録画時に抜き差しを行うとメモリーカード及び本体が破損する恐れがあります。
- ・重要な録画映像データはメモリーカード以外の別途パソコン・スマホにバックアップを取ることでデータの紛失を未然に防止することができます。

- 本製品を取り付ける際には、本体及び付属品が全て揃っていることを確認し、取り付け方法を確認した上で、所定の手順に従って取り付けてください。取り付けに分解整備を伴う場合や車両ハーネスから直接電源を供給する場合は必ず自動車整備認証工場または指定工場で行ってください。
- 取り付け作業は、できる限り水平な場所で、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。
- SRS（エアバッグ）等、車両の安全装置や、その他の装置に影響が出る場所に絶対に設置しないでください。
- ガラスの塗装部分及び遮光フィルム・熱線などは避けて取り付けてください。脱着時に塗装部分及び遮光フィルム・熱線などが剥がれる恐れがあります。
- 本製品を取り付けたフロントガラス・リアガラス・クォーターガラスは常にきれいにしてください。
- 設置場所の明るさや、ガラスの反射等により、映像品質が落ちる場合があります。取り付け後に撮影テストを行い、映像品質に問題が出ない場所に設置してください。
- 本製品は、運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
 - ※ ルームミラー裏側に設置することをお勧めします。「審査事務規定 第5章 5-47」により、フロントガラス上縁からガラス実長の20%以内の範囲にカメラを貼り付けることで車検に適合します。（平成26年11月現在）詳しくは、P20をご参照ください。
- ワイパーの拭き取り位置を確認して取り付けてください。

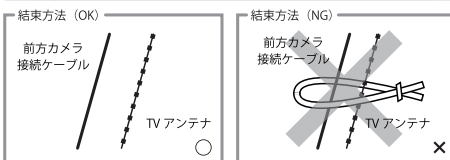
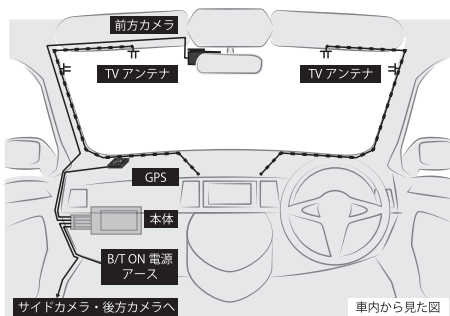
接続図



【前方カメラの取り付け位置イメージ（車内）】



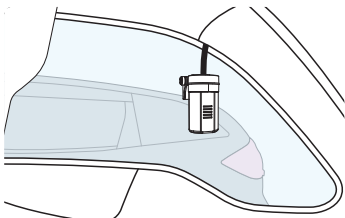
- フロントガラス全体の上部20%以内もしくは下から15センチ以内に装着します。
- 製品本体や後方カメラ・GPSモジュールは他の電波を利用した製品に影響がない場所へ取り付けてください。電波を利用した製品の例：GPS・ETC・VICS・レーダー探知機・テレビ・ラジオ・電話等。装着の場合によっては同時装着が出来ない場合もありますのでご注意ください。また、GPSは微弱な電波を受信しており、電波を遮る障害物にも影響を受けます。状況に応じて、GPSアンテナの設置場所を選択してください。
- 本製品のGPSモジュールはカーナビゲーションのGPSアンテナ（フィルムアンテナ含む）と50cm以上距離を離して取り付けてください。電波障害によりカーナビゲーションが正しく表示されない場合があります。電波障害が起きた場合は、本製品のGPSモジュールの取り付け位置を調整し、本製品の電源をOFFにして再度接続してください。
- 電波障害により、テレビが受信できなくなる場合があります。この場合、テレビの使用を中止してください。



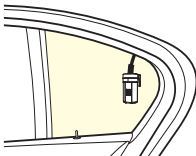
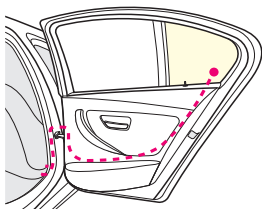
- 図の様にフロントガラスにTVアンテナが取り付けられている車輛に本製品を使用する場合、テレビの電波干渉が起きる可能性があります。走行中はテレビを見ないでください。
- 図の様に本製品の配線とTVアンテナ線はできる限り離して取り付けてください。
- 本製品とテレビ・ラジオを同時使用して発生した電波障害は、保証の対象になりません。予めご了承ください。

サイドカメラの取付

- ワゴン・SUV・ミニバン・クーペ等のリアクォーターガラスが設定されている車はリアクォーターガラスにサイドカメラを取り付けてください。

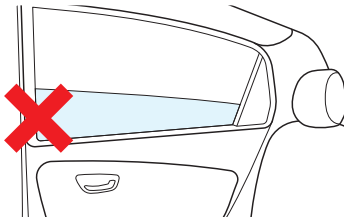


- ハッチバック・セダン等でクォーターガラスが無い車種は、リアドア内張を通して可動しないリアドアガラスの三角窓に設置してください。

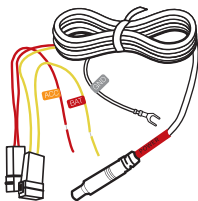


注意！

一部コンパクトカー・ハッチバック等のリアドアガラスが全て可動する車種はサイドカメラを取付できません。



- ① 電源ケーブルを車両に接続し、メインケーブルに接続します。

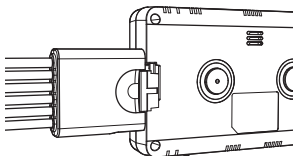


※ 電源の接続は、専門店（ディーラー、車両電装店等）で行ってください。

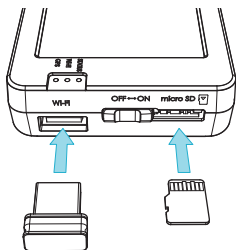
配線が間違っている場合は正常に動作しなかったり、製品が故障する可能性があります。

- 黒色：GND（アースポイント）
- 赤色：ACC（エンジンがONの時、電源が供給される箇所）
- 黄色：BAT（エンジンON / OFFに関わらず、常に電源が供給される箇所）

- ② 本体にメインケーブルを接続し、メインケーブルの各配線にカメラ、GPSモジュールを接続します。



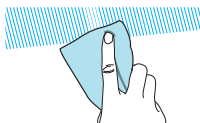
- ③ microSDカードスロットに付属のmicroSDカードを入れUSBポートにWi-Fi通信 Dongleを差した後本体電源ON / OFFスイッチをONにします。



- ④ エンジンON後、常時録画の開始を確認してください。

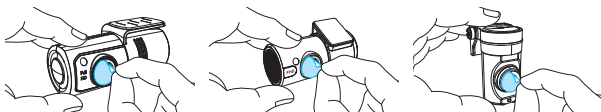


- ⑤ 各カメラを設置するガラスの脱脂作業を行います。



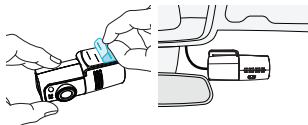
- ⑥ カメラのレンズ保護フィルムをレンズ面に触れないよう丁寧に外してください。

※レンズ保護フィルムを除去しなかった場合、録画画質が低下します。



- ⑦ 両面テープのフィルムを除去した後、前方カメラを運転者の視界に妨げにならない位置に、空気を抜きながら取り付けます。

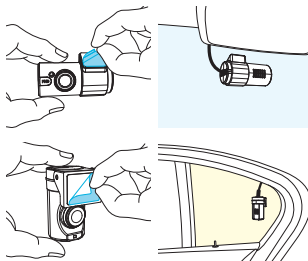
※ サンバイザーやSRS（エアバッグ等）に影響の無い場所を選んでください。



サイドカメラ、後方カメラも同様の方法で両面テープのフィルムを除去した後ガラスに接着してください。サイドカメラはリアクォーターガラスに接着してください。

後方カメラはワイパー装着車は拭き取り範囲内に設置してください。

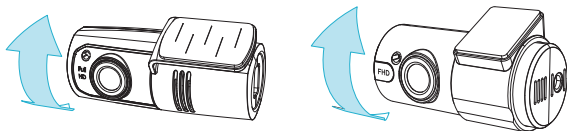
※ サンシェード装着車は干渉しない場所に設置してください。



⑧ タッチパネル画面を見ながら撮影角度を調節してください。

前方カメラ・後方カメラ

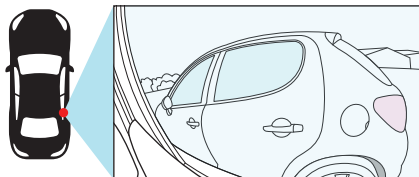
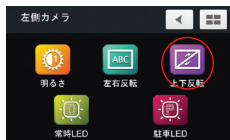
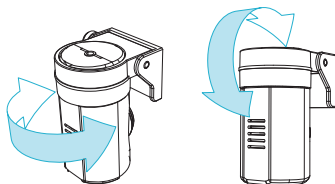
カメラ部分を回して調整してください。



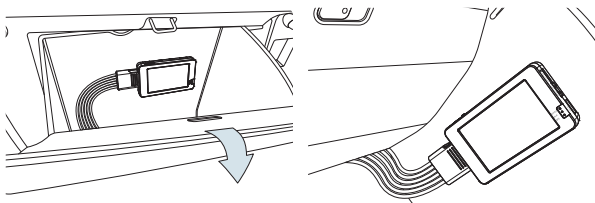
サイドカメラ

カメラ部分を回して左右の画角、ステーを回して上下の画角を調整してください。

上下が反対になる場合は、カメラ設定にて「上下反転」設定を行ってください。

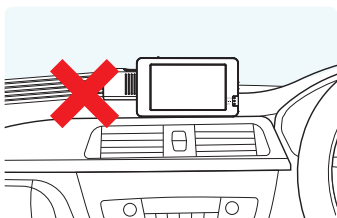


- ⑨ 本体設置ブラケットに両面テープを貼り付け、グローブボックス内、またはセンターコンソール付近等に設置し、本体を固定します。

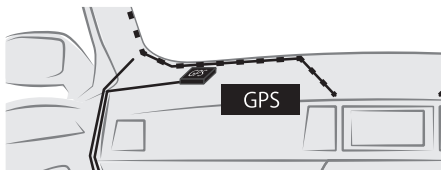


注意！

本体をダッシュボードに設置しないでください。高熱になり安定動作しません。

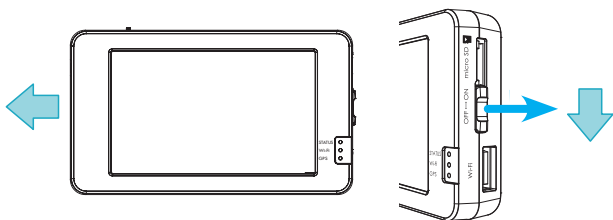


- ⑩ GPSモジュールをフロントガラス付近に設置します。

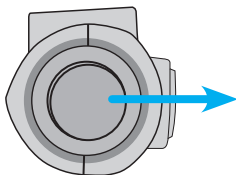


本体電源をOFFにする方法

LCD部右側面の電源スライドスイッチをOFFにしてください。本体LEDの消灯が確認できたら本体から電源ケーブルを抜いてください。



駐車監視モードをOFFにする方法



常時録画中に前方カメラ側面スイッチを長押し（5秒以上）押し、音声案内とともに画面右の駐車監視の表示が[P-OFF]になったことを確認してください。



※ 駐車監視モードを使用する場合は上記と同じスイッチを長押し（5秒以上）し、P-ONになったのを確認してください。

※ スマートフォンアプリからも駐車監視モードのON / OFF切替操作が出来ます。



駐車設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左記画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	遮断電圧 駐車監視モードの遮断電圧は“11.7V / 11.9V / 12.1V（初期設定） / 12.3V”から選択する事ができます。アイコンは、12.1V→12.3V→11.7V→11.9V→12.1Vの順に切り替わります。
	遮断時間 駐車監視モードの遮断時間は“使用しない / 3時間（初期設定） / 6時間 / 12時間 / 24時間”から選択する事ができます。アイコンは、03h→06h→12h→24h→“/”（使用しない）→03hの順に切り替わります。
	モーション感知 録画モード（初期設定） 駐車監視モードでモーション感度によりモーションが感知された場合、感知前に5秒、後15秒（合計20秒）映像を保存します。詳しくは、P85を参照してください。
	長時間モード（タイムラプス） 通常の駐車監視モード録画では、1秒に27.5フレームで保存しますが、1秒に4フレームで保存することで、長時間の録画が可能です。 長時間録画時はモーション感度と関係なく常時録画します。詳しくは、P86を参照してください。



※ 左記画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	超低電力モード 駐車モードの切り替え後、超低電力モードに切り替わると衝撃感知モードの状態になり、衝撃が発生すると起動し、衝撃以降20秒映像を録画します。 超低電力モードに切り替わると、最小電流消費の状態で長時間待機状態に保つことが可能です。 詳しくは、P87を参照してください。 ※ 衝撃の瞬間の映像は録画されません。
	駐車容量 microSDカードの駐車モード保存容量を設定します。 “0% / 25%（初期設定） / 50%” から選択できます。駐車モードの保存容量を変更するためにはフォーマットが必要です。 アイコンは、25%→50%→0%→25%の順に切り替わります。 注：駐車容量を「0%」に設定すると駐車監視モードに移行しません。

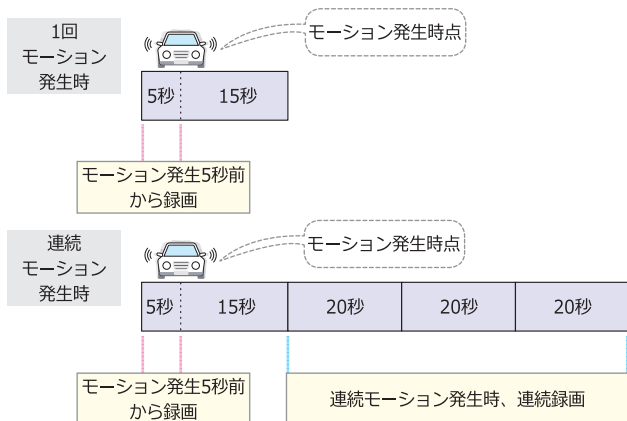
※ モーション感知録画モード・長時間モード・超低電力モードの切替は青色のアイコンをタッチして切り替えてください。

 駐車ファイル

 駐車イベントファイル

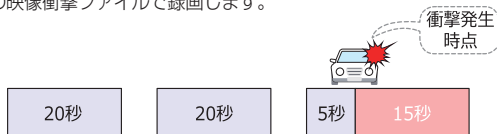
■ 駐車モーションファイル

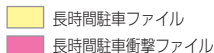
- 駐車モード中にモーションが発生した場合、モーション発生5秒前から発生後15秒（合計20秒）の映像を保存します。
- 連続モーションが発生した場合、次の駐車モーションファイルは5秒前の映像なしで映像を録画し続けます。



■ 駐車イベントファイル

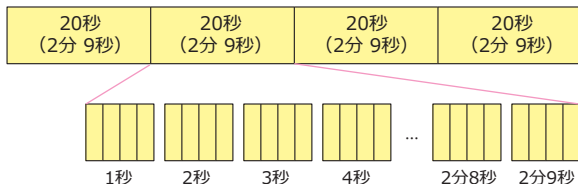
- 駐車録画中に衝撃が発生した場合、衝撃発生5秒前から発生後15秒（合計20秒）の映像衝撃ファイルで録画します。





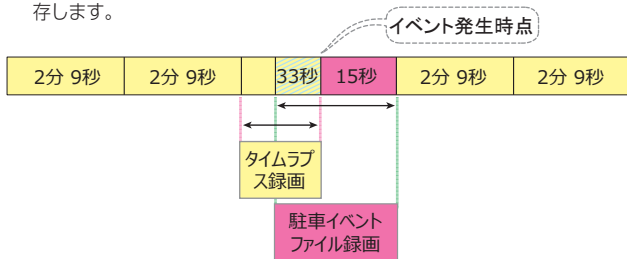
■ 長時間駐車ファイル

- 1秒間に4枚の静止画を撮影し、2分9秒の様子を20秒に圧縮して連続保存します。



■ 長時間駐車衝撃ファイル

- 長時間駐車ファイルの連続保存中に衝撃が発生すると、衝撃発生前の33秒(4fps)からその後15秒(27.5fps)まで(合計48秒)の映像を保存します。



※ 衝撃発生時、長時間駐車ファイルと駐車衝撃ファイルの映像が重なる時点(衝撃発生前33秒)は、長時間駐車ファイル、長時間駐車衝撃ファイルにすべて保存されます。

※ 長時間記録モードに設定した場合、状況により事故の瞬間などが記録されない場合があります。

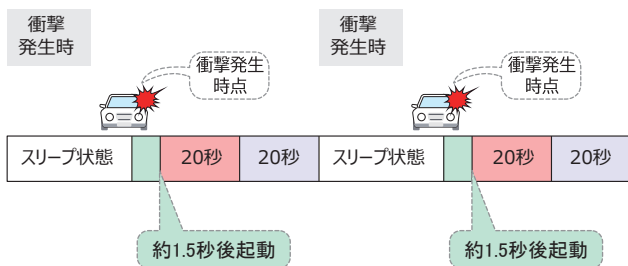
※ 長時間記録モードでは映像に音声は録音されません。

超低電力駐車ファイル

■ 超低電力モード駐車イベントファイル

超低電力駐車イベントファイル

- 超低電力モード中に衝撃が発生した場合、衝撃発生後起動時（約1.5秒）から20秒の映像を保存し、続いて駐車ファイル20秒の映像を保存します。



※ 超低電力モード駐車イベントファイル / 駐車ファイルを保存した後、次の衝撃が発生するまでスリープ状態になります。スリープ状態では録画は行いません。

※ 超低電力モードに設定した場合、衝撃が起きた時点の映像は記録されませんのでご注意ください。

※ 超低電力モードでは映像に音声は録音されません。